

主の御名を賛美いたします。

10月とは思えない真夏日が続いたと思ったら急に気温が下がり、朝晩は暖房のスイッチに手が伸びます。もうすぐ町中にもクリスマスソングが流れてくるでしょう。

「石巻支援について思うこと」

古川教会 浅野 久美子

私は、古川教会の会員です。古川教会は、仙台教会より石巻に近く、このミニストリーにおいて、仙台教会と立場を共にする教会ではありますが、現実には、この春に経済的自立を果たばかりであり、経済的にも、人的にも、仙台教会の重荷を軽くできる力を持つまでには至っていません。

古川教会は、仙台教会が月に2回行っている石巻の活動のうち、月1回だけ加わらせて頂いています。毎月、第4木曜日です。この仮設住宅への奉仕は、その準備の全てが、仙台教会の兄姉によって綿密に計画されており、その細やかな配慮たるや素晴らしいものがありますが、私共古川の者は、その計画に沿って、ご一緒に奉仕させて頂いております。仮設住宅への訪問。集会場で交わりをしている、というお誘い。集会場では、一緒に、絵手紙を作ったり、お話しを聞いたり、お茶を出したり、お弁当を配ったりの奉仕です。ただ、被災した方の心の奥に迫るような会話は、私は個人的には経験していません。

そのような、地味な活動でありながら、私個人としては、この奉仕に加わることは、そう容易なことではありません。第4木曜日は、前日の水曜日に子ひつじクラス（幼児クラス）の奉仕があり、奉仕の内容によっては、そのまた前日からの準備が必要です。また、木曜日は、夜には祈祷会があるので、石巻の活動を終えた後、祈祷会にも出席するわけで、毎月第4週は、体力と体調の調整が必要で、緊張の1週間です。それに加え、正直、私の奉仕が、何か役に立っているのだろうか……—というように思いが湧いて来る時もあります。

そういう中であって、先日の8月の奉仕活動は、やや趣が違っていました。

仮設の集会場でのコンサートで、年配の男の方が、あまり知られていない地味な賛美歌を聞きながら、涙をこぼしているのを見ました。その方は、被災した方をケアする立場の、石巻の職員の方だったのです。ご自分の痛みは、いつもしまっておいて、地元の方のために尽くしていらっしゃるのではないのでしょうか？

私は、その涙を見た時、この奉仕活動も、更に、深みに漕ぎ出す時が来たのではないかと、僭越ながら、思わされました。キリストの福音を、更にはっきりと、打ち出す時が来たのではないかと……—。

折しも会堂の建築が、待たれる時となりました。

どうかこれまでの仙台教会の兄姉の尊いご奉仕が、豊かな実を实らせ、生きている神様を証しするものであるようにと祈らずにはられません。

石巻宣教は、これからが本番です。全国の福音自由諸教会の皆様の尊いご奉仕とお捧げものに感動しつつ、これからも、孤軍奮闘に近い形で頑張っていらっしゃる仙台教会の皆さまを、どうか、お祈りによって、支え続けて下さい。と、心から、申し上げたいです。

主の御名を賛美いたします。

2011年3月11日金曜日、その日私は毎月持たれている婦人のための集会「シャロンの花のつどい」に出席し、母と一緒に次男を幼稚園のバス停まで迎えに行きました。そのまま母に次男を預け、私は美容院に送ってもらい小一時間経ったころ、あの大地震が起き、店のお客さんたちと一緒に外に避難しました。長い揺れだったので駐車場に停めてあったすべての車が、今にも動き出しそうに上下左右に大きく揺れる異様な光景と、周りの店々から大きな音で鳴り響くサイレンの音がとても怖く感じたのを覚えています。

すぐに母や夫の携帯に電話をしましたが繋がりません。当時小学校3年生だった長男の無事も気にかかります。14時46分、早ければ下校中です。「帰宅途中だったらどうしよう。」すぐにも迎えに行きたい気持ちでいっぱいでしたが、母の迎えが来なければ帰ることができません。夫のことも心配していると、美容師の方が自分の携帯電話でテレビをかけて見せてくれました。夫は仙台新港という海辺近くの自動車工場で働いていましたが、沿岸部には大津波警報が出されており、津波の予想は10メートルと伝えていました。不安が募り余震も続く雪降る中で、私はただただ「神様、神様」と心の中で繰り返すしかできませんでした。

しばらくすると、母が次男と一緒に迎えに来てくれました。信号機は止まり、道路には段差や亀裂が入っている箇所もあり、来るのが大変だったそうです。一安心したところですぐに長男を迎えに自宅へ戻りましたが、帰って来ていなかったのが小学校へと向かいました。途中、家々のブロック塀が崩れていたり、お店の大きな窓ガラスが割れて歩道に散乱したりしていました。

地震が起きたとき小学校には生徒全員が残っていました。雪が吹雪く中、子どもたちは上靴のまま上着も着ないで校庭の真ん中に集まり、震えながら不安そうに保護者の迎えを待っていました。当時、教室で地震に遭った長男は、激しい揺れに天井が崩れ落ちてきたりととても怖い思いをしたそうです。

まずは元気そうな長男の姿にホッとし一緒に帰りましたが、家の中はあまりにひどくて入れない状態だったので、必要最低限を持ち出し我が家の駐車場にすることにしました。ライフラインがすべて途絶え、電灯も家の明かりもない暗くて寒い車の中で毛布をかぶり、未だ連絡の取れない夫や家族の無事を母と祈りながら過ごしました。

あの日…美容院に行かずに母は実家に帰ってしまっていたら幼い子供二人と私の三人で車もなく余震が続く中、どのように過ごしていたのか…と思うと恐ろしくなりました。

そして夜遅く夫が帰宅しました。会社には1メートルの津波が来て会社の二階へと避難し、辺りの水が引くのを待ってから、(夫の車は水に浸かって使えず)会社の車を借りてやっとの思いで帰ってきたのでした。夫の帰りがこんなに嬉しかったのは初めてでした。母がそばにいて夫も無事で、次の日には父や二人の弟の全員が我が家に集うことができましたことを神様に感謝しました。

教会には次の週から国内外よりたくさんの支援物資がトラックで運ばれてきました。長い時間をかけて先生方や多くの兄弟姉妹もボランティアに駆けつけて下さいました。送られてきた支援物資は沿岸部を中心に必要とされているところへと届けられ、そして次第に石巻へと導かれていきました。

当初の支援活動は物資配布が中心でしたが、「被災地の方に福音をお伝えしたい」という思いが教会全体に与えられ、今は集会所などをお借りして仮設の方々とのお交わりがメインの集会と

戸別訪問が活動の中心となっています。

いろいろな集会在持たれる中で、現在ドイツに留学し声楽を学んでおられる浅野洋介さん（ご両親は古川教会に通っておられ、お兄さんはけやき通り教会の浅野誠牧師）がこの夏日本に戻って来られて、支援活動でコンサートの奉仕をしてくださることになりました。そこで私にピアノ伴奏をお願いしますかというお話を頂きました。プログラムを見て小学唱歌だけでなく有名な「初恋」という歌曲や「丹澤」などという大曲もあり、務まるのかという不安もありましたが、祈りの中に聖霊様の励ましを頂き引き受けさせていただきました。私は震災後もう一人子供が与えられたことや時間的なこともあり、支援活動に参加できずにいましたが、子供たちもちょうど夏休みということで、別の場所での支援活動に参加させて頂きました。

初参加なのでどんな方々が集い、またどんな雰囲気なのかわからずに緊張しましたが、神様からの平安と助けを頂いて、伴奏をさせていただくことができました。浅野さんの温かで深みのある歌声と、曲によっては迫力のある音声が会場いっぱいに広がり集まった方々も聞きなれたメロディになつかしさを覚え、感動されておられ全員で「いつくしみ深き」を賛美することもでき、とても祝福されたコンサートとなりました。私自身、小さく足りない者ですが神様に用いていただけることの喜びと感謝に満たされた時でした。

その後の昼食会も和やかで良い時間でした。仮設の方々の話を真剣に聞く兄弟姉妹の姿勢などを通して、交わりの大切さを大いに感じた時でもありました。

今、仙台教会は石巻に拠点をおいて支援活動と並行しながら福音宣教を進めていこうとしておりますが、支援活動に参加させて頂きまだ神様を知らない方々に本当の慰めと希望一何よりも神様の愛を知っていただきたいと心から思いました。

ぜひこの石巻宣教の働きを覚えて、神様の御心がこの地に行われますようお祈り頂けましたら幸いです。

神は、すべての人が救われて、真理を知るようになるのを望んでおられます。（I テモテ 2 : 4）
喜ぶ者といっしょに喜び、泣く者といっしょに泣きなさい。（ローマ 12 : 15）



コンサートの様子



コンサートを終えて
一番後ろ左から3番目 浅野久美子姉（古川）
前列真ん中 赤間光姉（仙台）

「第1回石巻会堂チラシ配布」

2013年10月14日

会堂建築が始まるのと合わせて、教会が建てられることを近隣の方々にお知らせすることが必要であるという思いから、教会建築予定地の周辺にチラシ配布を行いました。

当日は、久しぶりの秋晴れ。通常の支援活動は平日木曜日に行うので、学生や社会人では参加することが難しいということで、チラシ配りを祝日にしました。

仙台教会が建設された当時、他地域の兄弟姉妹たちが、幾度も仙台に足を運び、教会周辺5キロに、チラシを配ってくださいました。配られた教会案内を見た方々が新来会者として来てくださり、礼拝を始めた1年間に、新来会者が来なかった週はたった2、3回だけだったそうです。

しかし冬場になり、チラシ配布を止めたら、ピタッと新来会者も来なくなったという現象も。。。。

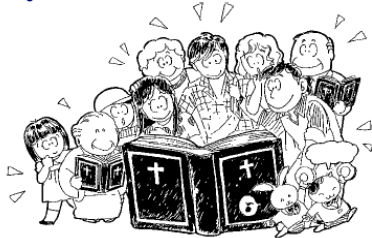
私たちが今、仙台教会に集えているのは、24年前に多くの兄弟姉妹たちが「良いことの知らせを伝える人々の足」となってくださったからです。24年前に私たちがさせていただいたことを、今度は私たちの「足」を神様のご用のために用いていただくことができるのは幸いです。

チラシをお配りしながら、地域の方々とお話することもできました。多くの方々が好意をもってくださったようです。

神様が集う方を送ってくださるようという祈りと共にご奉仕をさせていただきました。

第2回チラシ配布 2013年12月23日 クリスマスキャロリング (於イオン予定)
第3回チラシ配布 2014年2月11日 3月9日森祐理姉コンサートのお知らせ

あなたの街に
あなたのための教会が誕生します



ふくいん
石巻福音自由教会
2014年3月開所予定

石巻市三和町6 (高砂長寿味増様 工場裏)
※エホバの証人・統一教会・モルモン教はキリスト教ではありません

すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、
わたしのところに来なさい。
わたしがあなたがたを休ませてあげます。
聖書(マタイ 11:28)



『私は なつかしい あの街を思い出す。...
誰かの歌が聞こえる 誰かを励ましてる
誰かの笑顔が見える 悲しみの向こう側に
花は 花は 花は 咲いっか生まれる君に
花は 花は 花は 咲く わたしは 何を残したのだろう』
NKK 東日本大震災プロジェクトのテーマソング 『花は咲ほよ』

東北の復興を願って歌われている『花は咲く』の歌詞の一部です。じっくり聴くとみると、歌詞に込められた思いは、まさに、人々の思いそのものです。
決して、忘れてはならない出来事だからこそ、しっかりと心に刻み、それぞれの思いを胸に抱きながら、一歩、また一歩、と歩んでこられたのではないかと思います。
しかし、なかなか前に進めない人も、また、希望ではないでしょうか。
私たちは、支援活動を通して、様々な教えられてきたことを生かし、人々の傍らに寄り添いながら、共に、歩んで行く教会でありたいと願っています。

聖書の中で、イエスキリストが『わたしは神であり、真理であり、いのちなのです。』と語られました。この意味の深かさと豊かさを、より多くの人々に知って頂きたいと願い、三和町に教会を建てさせて頂くことにしました。よろしくお願ひ申し上げます。
(西田耕三)

【連絡先】 仙台福音自由教会
〒981-0954 仙台市青葉区川平5-3-8
TEL.022-277-1435 牧師・吉田耕三

石巻にクリスマスプレゼントを届けます！



皆様お元気でお過ごしでしょうか。今年もクリスマスが近づいて参りました。昨年は石巻のために、多くのクリスマスのプレゼントをお送り頂き有り難うございました。

今年も、仮設住宅と教会建設地近隣に、お配りします。もし可能であれば、様々なプレゼントをまとめてお送り頂ければ大変うれしく思います。

お忙しい中だと思いますが、宜しく願い申し上げます。

プレゼント総数 250 個を予定

冬用靴下、マフラー、手袋、毛糸の帽子、お菓子（クッキー/キャンディー/チョコレート）などを詰め合せます。



お送りいただくのは新品でお願いします。
男性用、女性用・子供用も助かります。

募集期間：10月下旬から11月いっぱい

手作りのクッキーなどを送っていただく場合は、**賞味期限の関係で11月の下旬**に送っていただけましたら感謝です。

被災者支援活動担当：吉田真知子

いっしょに石巻会堂を建てあげませんか？

11月初旬に建築申請が通り、中旬から基礎工事を始めるための準備が始まっています。今後は、米国から建築資材が到着し会堂の『建築』へと進みます。現場監督として大阪の筒井兄が指揮をとります。そして建築作業は米国長老派教会を通じて募集するボランティアさんたちが担ってくださいますが、彼らだけに任せるのではなく私たちも建築作業に加わります。米国人と日本人が1つの教会を一緒に建てるのを、ご覧になる周りの方々に良き証となることでしょう。この良き証の機会に、みなさまも加わってみませんか？

大作業をやったことがない、英語が話せないという方でも大丈夫です。清掃作業や資材運びなど、できることはたくさんあります。女性の方も大歓迎です。

3月9日には、福音歌手の森祐理姉を招いてコンサートを企画しています。この日までに会堂を完成させていただきたいと願っています。どうぞお祈りに覚えていただくとともに、建築ボランティアにご参加いただければうれしいです。

建築の進み具合により、ボランティア必要時期が変わります。詳しくは、お問い合わせください。

石巻被災地支援金会計 2013 年 10 月末残高

9 月・10 月入金	9 月・10 月出金	10 月残高
241,140	400,451	2,434,735

※出金には支援車の車検費、任意保険費を含みます
お捧げいただき感謝します。(米国ローリングヒルズカベナント教会／蕨教会婦人会
クリスマス支援指定／仙台教会)

祈禱課題

1. 建築に関する諸手続きがスムーズに行われますように。(建築申請、施工)
2. 米国 R3I との協力がスムーズに進み、2014 年 3 月初旬までに会堂が完成できるように。
3. 栗原師の後任を担う方が起こされますように。
4. 被災地全地に主の祝福が溢れますように。
5. 支援活動に携わる一人一人が愛に満たされて、石巻に赴くことができるように。
6. 3 月 9 日の「森祐理コンサート」に地元の多くの方々が来られるように。

2013 年 9 月・10 月石巻宣教ミニストリー会計報告

収 入		支 出	
前月繰越	18,299,928		
9 月	461,300	9 月	194,000
10 月	2,602,724	10 月	1,379,081
		次月繰越	19,790,871
合計	21,363,952	合計	21,363,952

※支出内訳 (栗原師謝儀、会堂建築費、土地代 他)

お捧げいただき感謝します。(上田教会／宇治教会／近江教会／川越教会／久喜教会／けやき通り
教会／新松戸教会／草加教会／東京武蔵野教会／高槻教会／名古屋教会／名古屋西教会／深谷教
会／東川口教会／東村山教会／古川教会／仙台教会／個人 (3 件))

石巻宣教ミニストリーへの献金振り込み先

276	5556112	七十七銀行長命ヶ丘支店	石巻宣教ミニストリー 代表役員 吉田耕三
18160	25717651	ゆうちょ銀行	宗教法人 仙台福音自由教会

※ 現在、ゆうちょ銀行の口座間で、ATM を利用した振込送金であれば、手数料無料で送金することが可能です。(現金払い込には手数料がかかります)

ニュースレターは、2 カ月に 1 度発行いたします。個人的に受取を希望される方は、kyoukai@sendaiefc.com までご連絡ください。

仙台福音自由教会

牧師 吉田耕三 協力牧師 栗原延元

〒981-0954 宮城県仙台市青葉区川平 5-3-8

TEL : 022-277-1435 FAX : 022-277-1465

HP <http://www.sendaiefc.com>

Eメール kyoukai@sendaiefc.com

支援活動の様子は、随時ホームページと Facebook にアップしています。

<http://www.sendaiefc.com/311/>

<http://www.facebook.com/sendaiefc>